

旧石川保育所解体工事

図番	図名		図番	図名	
A―1	解体工事特記仕様書(1)	—	C―1	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	—
2	解体工事特記仕様書(2)	—	2	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	—
3	既存杭引抜工事特記仕様書	—	3	基礎伏図 杭伏図	1：100
4	付近見取図 配置図	1：200	4	屋根伏図	1：100
5	仕上表(1)	—	5	軸組図1	1：100
6	仕上表(2)	—	6	軸組図2	1：100
7	平面図	1：100	7	梁、柱、地中梁、基礎リスト	1：50
8	屋根伏図	1：100	8	小梁、壁、床版リスト、床版配筋図、雑配筋図	1：50
9	天井伏図	1：100	9	架構配筋図 雑配筋図	1：50
10	立面図	1：100	10	杭撤去範囲図	1：200
11	断面図	1：100			
12	矩計図 断面詳細図	1：10, 30	E―1	電気設備工事 特記仕様書	—
13	矩計図	1：30	2	分電盤結線図 弱電系統図	—
14	断面詳細図	1：30, 50	3	幹線動力 コンセント設備	1：100
15	便所 玄関 玄関ホール 医務室 更衣室 踏込 平面詳細図 展開図	1：20, 30, 50	4	照明器具姿図	—
16	ほふく室 乳児室 乳児便所 沐浴室 平面詳細図 展開図	1：5, 30, 50	5	電灯設備	1：100
17	職員室 保育室 平面詳細図 展開図	1：50	6	弱電器具姿図	—
18	保育室 休憩室 教材室 平面詳細図 展開図	1：30, 50	7	弱電設備	1：100
19	調理室 下処理場 食品庫 洗タク室 配膳室 便所2 平面詳細図 展開図	1：30, 50	8	自動火災報知器設備	1：100
20	保育室 平面詳細図 便所 手洗所 配膳室 展開図	1：50			
21	遊々室 倉庫 平面詳細図 展開図	1：5, 20, 30, 50			
22	遊々室 展開図	1：50	M―1	機械設備 特記仕様書 撤去機器表	—
23	廊下 玄関 玄関ホール 展開図	1：100	2	衛生設備 屋外配管図	1：100
24	建具配置図	1：100	3	衛生設備 各種詳細図	1：50
25	建具表(1)	1：50	4	空調換気設備 平面図	1：100
26	建具表(2)	1：50	5	衛生設備 雨水配管図	1：100
27	建具表(3)	1：50			
28	家具配置図（造付）	1：100			
29	家具詳細図	1：20			
30	家具配置図（備品）	1：100			
31	部分詳細図	1：20, 30, 50			
32	外構解体配置図	1：300			
33	外構解体詳細図(1)	図示			
34	外構解体詳細図(2)	図示			
35	外構解体詳細図(3)	図示			
36	外構解体詳細図(4)	図示			
37	求積図 求積表（参考図）	1：200			
38	新築工事特記仕様書1（参考図）	—			
39	新築工事特記仕様書2（参考図）	—			
40	仮設計画図（参考図）	1：200			
41	解体後造成図	1：300			

与謝野町 子育て応援課
キタイ設計株式会社 京都支社

③⑨	工 事 写 真	下記により撮影、整理し必要事項を記入の上、監督職員に提出する。	⑧	本 設 仮 囲 い	本設仮囲いは、再利用品で可とする。但し厚生労働省「経年仮設機材の管理について」基発第223号の2平成8年4月4日を遵守する事。	⑤	塵 埃 防 止	○工事期間中は、防音シート・防音パネル設置等必要な振動・騒音対策を十分講ずること。近隣住民の要望等も、誠意をもって対処し、必要な対策を講ずること。 塵埃を発生する作業については、圧力ポンプによる散水を十分に行い、塵埃飛散防止に努めること。（アスベスト等の撤去時は、環境測定による飛散防止の証明を行う事） 粉塵飛散防止の為、強風の時は工事を控えるように努める事。	⑮	飛散防止及び養生	作業区域は他の場所へのアスベスト汚染を防止する為、全周をプラスチックシート（JIS（Z1702-1986）同等以上）（床 t：0.15mm以上 2枚重ね、壁・窓 t：0.08mm以上）により、完全に隔離すると共に負圧をかける。 ○負圧作業場所には、H E P A フィルターを装備した負圧除塵装置を設置し、適切な運転管理を行うと共に、捕集された粉塵処理を的確に行う事。 ○作業中のアスベスト粉塵の飛散を防止する為に、粉塵防止剤を十分に噴霧して作業を行う。 ○作業区域内の設備、什器等は、区域外へ搬出して作業を行う。尚、搬出に際し移動困難なものについては、上記のポリエチレンシート等で完全に覆う事。																																															
		④⑩⑪									電気保安技術者図面	⑨	防 音 対 策	地上部の解体時は、当該建物の周囲を屋根底まで防音シートで囲む事。 解体作業用の開口部はこの限りでない。また、近隣や敷地内に対する騒音をできる限り抑えるよう、所要の防音対策を講じること。 敷地内の通路、公衆用道路に面する外部足場には、「建設工事公衆災害防止対策要綱建築工事編（平成5年1月12日 建設省経建発第1号）」に基づき防護棚を設けること。 受注者は、工事現場に以下のものを設置すること。 1) 工事標示板：W900×H1000程度 3箇所設置 2) 協力依頼板：適宜設置 3) 危険標示板：車両出入口の他適宜設置 施工期間中、解体敷地内に廃棄物置き場は原則的に設けない。 （ただし一定量は、監督職員と協議の上、承諾を得た場合はこの限りでない） 工事現場からの落下物・飛散物による危険防止は、万能鋼板・防音シート・養生金網等によるものとし、請負者の責任において適宜設置すること。 洗車装置（高圧洗浄装置等）を工事現場出口に適切に設け、泥土等が場外へ飛散することがないようにすること。（他に泥土等の飛散が防げれば、この限りでない） 既設排水溝や排水管・会所等の撤去時には、仮設の排水設備を設け、排水上の支障が生じないようにすること。 適宜防犯灯の設置工事を行うこと。 建物解体工事中、騒音・振動測定(3箇所)を行う事。その際仮囲い等に騒音・振動表示板を設置し近隣周辺に周知を行う事。測定地点は監督職員と協議の上決定。 敷地内の運搬通路について、必要な場合は数鉄板にて養生する事。 工事敷地の進出場所には、交通誘導員を配置して交通安全を計る事。																																												
		④⑩⑪									完成時の提出図書完成図	⑩	防 護 棚																																													
		④⑩⑪									完成時の提出図書完成図	⑪	工事標示板等の設置																																													
		④⑩⑪									完成時の提出図書完成図	⑫	仮 置 場																																													
		④⑩⑪									完成時の提出図書完成図	⑬	落下物・飛散物等による危険防止																																													
		④⑩⑪									完成時の提出図書完成図	⑭	洗 車 設 備																																													
		④⑩⑪									完成時の提出図書完成図	⑮	仮 設 排 水																																													
		④⑩⑪									完成時の提出図書完成図	⑯	防 犯 灯 設 備																																													
		④⑩⑪									完成時の提出図書完成図	⑰	騒音・振動測定設備																																													
①	一 般 共 通 事 項	④⑩⑪	完成写真	提出の要否 ※要 ・否 アルバム提出部数 ※3部 ・部	③	解 体 工 事	①	一 般 仕 様	⑥	ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事	本特記仕様書及び図面による他、建設省監修日本建築センター発行「既存建築物の吹付アスベスト粉塵飛散防止処理技術指針・同解説」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書 平成28年版」、厚生労働省「建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針」による。 建設業労働災害防止協会「建築物の解体等工事における石綿粉じんのばく露防止マニュアル」を参考とする。 厚生労働省「石綿飛散濃度防止対策徹底マニュアル[Z.02版]」を参考とする。 また、請負人はアスベスト撤去工事に際しては、特定化学物質等取扱い作業主任を専任し、その指示に基づき施工の事。 1). アスベスト撤去 アスベスト撤去工事については、(財)日本建築センター、(財)建築保全センターの技術審査を受けた除去工法によるものとし、専門業者による責任施工とする。 ＜参考業者＞ ・ ㈱ノザワ (tel:078-391-1651) ・ 明星工業㈱ (tel:06-6448-0455) ・ ㈱エスポワール (tel:06-6784-7200) ・ 協和産業㈱ (tel:052-903-0018) ・ 日本インシュレーション㈱ (tel:06-6633-7321) ・ ㈱エアンドエーマテリアル (tel:06-6312-1765) ・ ニチアス㈱ (tel:06-6252-1301) 2). 専門測定機関 ・ 特定計量証明事業者認定を許可登録しているものとし、かつ、都道府県労働局にに登録されている作業環境測定機関とする。計数分析は、第1種作業環境測定士とする。 工事着手前に付近の状況を調査し、公害及び安全対策は工事竣工まで講じること。 作業内容については、監督職員と連絡調整し、問題無き様配慮する事。 受注者は、アスベストの撤去及び処分にあたっては、本特記仕様書に基づき完全に履行する事。関係法令を遵守し、労働安全及び環境汚染の防止に努める事。又、関係官庁へ必要な届出を遅滞無く行う事。 受注者は、工事着工に先立ち、アスベスト撤去に伴う粉塵対策を盛込んだ施工計画書を作成し、監督職員に提出し承諾を得る事。 受注者は、石綿作業主任者を選任し、アスベスト撤去作業についてはその指示のもとに行う事。 アスベストに関する安全衛生教育を受けた者とし、塵肺健康診断、アスベストに関する特殊健康診断を6ヶ月以内に受診し異常の無かった者とする。 受注者は、本工事前現場作業員に対して、事前にアスベストに関する安全教育を実施し、十分に理解させる事。 作業区域内外の作業前、作業中、作業後のアスベスト粉塵濃度を測定し報告書を提出するものとし、測定ポイント位置、個所等は下記の通り。 各施工場所ごと <table><tr><th>測定名称</th><th>測定場所</th><th>測定点</th><th>備考</th></tr><tr><td>始業作業前</td><td>測定1</td><td>始業作業室内</td><td>各2点又は3点 (注) 1</td></tr><tr><td rowspan="4">始業作業中</td><td>測定2</td><td>始業作業室内</td><td>各1点又は3点</td></tr><tr><td>測定3</td><td>吹き出しゾーン入口</td><td>各1点</td></tr><tr><td>測定4</td><td>負圧・除じん装置の排出口</td><td>出口吹き出し風速1m/sec 以下が設置各1点</td></tr><tr><td>測定5</td><td>除じん装置溜りかつ敷地境界</td><td>4方向各1点</td></tr><tr><td>始業作業後（シート撤去前）</td><td>測定6</td><td>始業作業室内</td><td>各2点</td></tr><tr><td rowspan="2">測定7</td><td>施工区画周辺かつ敷地境界</td><td>4方向各1点×2</td><td></td></tr><tr><td>測定8</td><td>始業作業室内</td><td>各2点又は3点 (注) 1</td></tr></table> 全体 <table><tr><th>測定時期</th><th>測定名称</th><th>測定場所</th><th>測定点</th><th>備考</th></tr><tr><td>始業作業前</td><td>測定1</td><td>施工区画周辺かつ敷地境界</td><td>4方向各1点</td><td>大気</td></tr><tr><td>始業作業後</td><td>測定2</td><td>施工区画周辺かつ敷地境界</td><td>4方向各1点</td><td>大気</td></tr></table> (注) 1. 各施工場所ごとの室面積が60㎡以下または2点、300㎡以下または3点とする。 300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。 (注) 2. アスベスト撤去足場を、吹付又は天井復旧工事に利用する場合は、足場撤去後も空気測定を行う事。 更衣施設及び洗身施設は、作業区域の出入口に接して、作業期間を通じて設置する。更衣施設は、運動更衣スペースと保護更衣スペースとを分離したものとする。 作業場所には、見易い所に「工事関係者以外の立ち入り禁止」の表示を設置する事。 アスベスト撤去作業員は、全身を覆う特殊作業服及び靴を使用し、作業終了後は、撤去したアスベストと同様、安全に処分する事。なお、除去作業時は電動ファン付き呼吸用保護具又は同等以上の性能を有するものを使用すること。	測定名称	測定場所	測定点	備考	始業作業前	測定1	始業作業室内	各2点又は3点 (注) 1	始業作業中	測定2	始業作業室内	各1点又は3点	測定3	吹き出しゾーン入口	各1点	測定4	負圧・除じん装置の排出口	出口吹き出し風速1m/sec 以下が設置各1点	測定5	除じん装置溜りかつ敷地境界	4方向各1点	始業作業後（シート撤去前）	測定6	始業作業室内	各2点	測定7	施工区画周辺かつ敷地境界	4方向各1点×2		測定8	始業作業室内	各2点又は3点 (注) 1	測定時期	測定名称	測定場所	測定点	備考	始業作業前	測定1	施工区画周辺かつ敷地境界	4方向各1点	大気	始業作業後	測定2	施工区画周辺かつ敷地境界	4方向各1点	大気
		測定名称	測定場所	測定点								備考																																														
		始業作業前	測定1	始業作業室内								各2点又は3点 (注) 1																																														
		始業作業中	測定2	始業作業室内								各1点又は3点																																														
			測定3	吹き出しゾーン入口								各1点																																														
			測定4	負圧・除じん装置の排出口								出口吹き出し風速1m/sec 以下が設置各1点																																														
			測定5	除じん装置溜りかつ敷地境界								4方向各1点																																														
		始業作業後（シート撤去前）	測定6	始業作業室内								各2点																																														
		測定7	施工区画周辺かつ敷地境界	4方向各1点×2																																																						
			測定8	始業作業室内								各2点又は3点 (注) 1																																														
測定時期	測定名称	測定場所	測定点	備考																																																						
始業作業前	測定1	施工区画周辺かつ敷地境界	4方向各1点	大気																																																						
始業作業後	測定2	施工区画周辺かつ敷地境界	4方向各1点	大気																																																						
④⑩⑪	電気保安技術者図面	⑨	防 音 対 策	地上部の解体時は、当該建物の周囲を屋根底まで防音シートで囲む事。 解体作業用の開口部はこの限りでない。また、近隣や敷地内に対する騒音をできる限り抑えるよう、所要の防音対策を講じること。 敷地内の通路、公衆用道路に面する外部足場には、「建設工事公衆災害防止対策要綱建築工事編（平成5年1月12日 建設省経建発第1号）」に基づき防護棚を設けること。 受注者は、工事現場に以下のものを設置すること。 1) 工事標示板：W900×H1000程度 3箇所設置 2) 協力依頼板：適宜設置 3) 危険標示板：車両出入口の他適宜設置 施工期間中、解体敷地内に廃棄物置き場は原則的に設けない。 （ただし一定量は、監督職員と協議の上、承諾を得た場合はこの限りでない） 工事現場からの落下物・飛散物による危険防止は、万能鋼板・防音シート・養生金網等によるものとし、請負者の責任において適宜設置すること。 洗車装置（高圧洗浄装置等）を工事現場出口に適切に設け、泥土等が場外へ飛散することがないようにすること。（他に泥土等の飛散が防げれば、この限りでない） 既設排水溝や排水管・会所等の撤去時には、仮設の排水設備を設け、排水上の支障が生じないようにすること。 適宜防犯灯の設置工事を行うこと。 建物解体工事中、騒音・振動測定(3箇所)を行う事。その際仮囲い等に騒音・振動表示板を設置し近隣周辺に周知を行う事。測定地点は監督職員と協議の上決定。 敷地内の運搬通路について、必要な場合は数鉄板にて養生する事。 工事敷地の進出場所には、交通誘導員を配置して交通安全を計る事。																																																						
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑩	防 護 棚																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑪	工事標示板等の設置																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑫	仮 置 場																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑬	落下物・飛散物等による危険防止																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑭	洗 車 設 備																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑮	仮 設 排 水																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑯	防 犯 灯 設 備																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑰	騒音・振動測定設備																																																							
②	仮 囲 い	④⑩⑪	完成写真	提出の要否 ※要 ・否 アルバム提出部数 ※3部 ・部	③	解 体 工 事	①	一 般 仕 様	⑥	ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事	本特記仕様書及び図面による他、建設省監修日本建築センター発行「既存建築物の吹付アスベスト粉塵飛散防止処理技術指針・同解説」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書 平成28年版」、厚生労働省「建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針」による。 建設業労働災害防止協会「建築物の解体等工事における石綿粉じんのばく露防止マニュアル」を参考とする。 厚生労働省「石綿飛散濃度防止対策徹底マニュアル[Z.02版]」を参考とする。 また、請負人はアスベスト撤去工事に際しては、特定化学物質等取扱い作業主任を専任し、その指示に基づき施工の事。 1). アスベスト撤去 アスベスト撤去工事については、(財)日本建築センター、(財)建築保全センターの技術審査を受けた除去工法によるものとし、専門業者による責任施工とする。 ＜参考業者＞ ・ ㈱ノザワ (tel:078-391-1651) ・ 明星工業㈱ (tel:06-6448-0455) ・ ㈱エスポワール (tel:06-6784-7200) ・ 協和産業㈱ (tel:052-903-0018) ・ 日本インシュレーション㈱ (tel:06-6633-7321) ・ ㈱エアンドエーマテリアル (tel:06-6312-1765) ・ ニチアス㈱ (tel:06-6252-1301) 2). 専門測定機関 ・ 特定計量証明事業者認定を許可登録しているものとし、かつ、都道府県労働局にに登録されている作業環境測定機関とする。計数分析は、第1種作業環境測定士とする。 工事着手前に付近の状況を調査し、公害及び安全対策は工事竣工まで講じること。 作業内容については、監督職員と連絡調整し、問題無き様配慮する事。 受注者は、アスベストの撤去及び処分にあたっては、本特記仕様書に基づき完全に履行する事。関係法令を遵守し、労働安全及び環境汚染の防止に努める事。又、関係官庁へ必要な届出を遅滞無く行う事。 受注者は、工事着工に先立ち、アスベスト撤去に伴う粉塵対策を盛込んだ施工計画書を作成し、監督職員に提出し承諾を得る事。 受注者は、石綿作業主任者を選任し、アスベスト撤去作業についてはその指示のもとに行う事。 アスベストに関する安全衛生教育を受けた者とし、塵肺健康診断、アスベストに関する特殊健康診断を6ヶ月以内に受診し異常の無かった者とする。 受注者は、本工事前現場作業員に対して、事前にアスベストに関する安全教育を実施し、十分に理解させる事。 作業区域内外の作業前、作業中、作業後のアスベスト粉塵濃度を測定し報告書を提出するものとし、測定ポイント位置、個所等は下記の通り。 各施工場所ごと <table><tr><th>測定名称</th><th>測定場所</th><th>測定点</th><th>備考</th></tr><tr><td>始業作業前</td><td>測定1</td><td>始業作業室内</td><td>各2点又は3点 (注) 1</td></tr><tr><td rowspan="4">始業作業中</td><td>測定2</td><td>始業作業室内</td><td>各1点又は3点</td></tr><tr><td>測定3</td><td>吹き出しゾーン入口</td><td>各1点</td></tr><tr><td>測定4</td><td>負圧・除じん装置の排出口</td><td>出口吹き出し風速1m/sec 以下が設置各1点</td></tr><tr><td>測定5</td><td>除じん装置溜りかつ敷地境界</td><td>4方向各1点</td></tr><tr><td>始業作業後（シート撤去前）</td><td>測定6</td><td>始業作業室内</td><td>各2点</td></tr><tr><td rowspan="2">測定7</td><td>施工区画周辺かつ敷地境界</td><td>4方向各1点×2</td><td></td></tr><tr><td>測定8</td><td>始業作業室内</td><td>各2点又は3点 (注) 1</td></tr></table> 全体 <table><tr><th>測定時期</th><th>測定名称</th><th>測定場所</th><th>測定点</th><th>備考</th></tr><tr><td>始業作業前</td><td>測定1</td><td>施工区画周辺かつ敷地境界</td><td>4方向各1点</td><td>大気</td></tr><tr><td>始業作業後</td><td>測定2</td><td>施工区画周辺かつ敷地境界</td><td>4方向各1点</td><td>大気</td></tr></table> (注) 1. 各施工場所ごとの室面積が60㎡以下または2点、300㎡以下または3点とする。 300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。 (注) 2. アスベスト撤去足場を、吹付又は天井復旧工事に利用する場合は、足場撤去後も空気測定を行う事。 更衣施設及び洗身施設は、作業区域の出入口に接して、作業期間を通じて設置する。更衣施設は、運動更衣スペースと保護更衣スペースとを分離したものとする。 作業場所には、見易い所に「工事関係者以外の立ち入り禁止」の表示を設置する事。 アスベスト撤去作業員は、全身を覆う特殊作業服及び靴を使用し、作業終了後は、撤去したアスベストと同様、安全に処分する事。なお、除去作業時は電動ファン付き呼吸用保護具又は同等以上の性能を有するものを使用すること。	測定名称	測定場所	測定点	備考	始業作業前	測定1	始業作業室内	各2点又は3点 (注) 1	始業作業中	測定2	始業作業室内	各1点又は3点	測定3	吹き出しゾーン入口	各1点	測定4	負圧・除じん装置の排出口	出口吹き出し風速1m/sec 以下が設置各1点	測定5	除じん装置溜りかつ敷地境界	4方向各1点	始業作業後（シート撤去前）	測定6	始業作業室内	各2点	測定7	施工区画周辺かつ敷地境界	4方向各1点×2		測定8	始業作業室内	各2点又は3点 (注) 1	測定時期	測定名称	測定場所	測定点	備考	始業作業前	測定1	施工区画周辺かつ敷地境界	4方向各1点	大気	始業作業後	測定2	施工区画周辺かつ敷地境界	4方向各1点	大気
		測定名称	測定場所	測定点								備考																																														
		始業作業前	測定1	始業作業室内								各2点又は3点 (注) 1																																														
		始業作業中	測定2	始業作業室内								各1点又は3点																																														
			測定3	吹き出しゾーン入口								各1点																																														
			測定4	負圧・除じん装置の排出口								出口吹き出し風速1m/sec 以下が設置各1点																																														
			測定5	除じん装置溜りかつ敷地境界								4方向各1点																																														
		始業作業後（シート撤去前）	測定6	始業作業室内								各2点																																														
		測定7	施工区画周辺かつ敷地境界	4方向各1点×2																																																						
			測定8	始業作業室内								各2点又は3点 (注) 1																																														
測定時期	測定名称	測定場所	測定点	備考																																																						
始業作業前	測定1	施工区画周辺かつ敷地境界	4方向各1点	大気																																																						
始業作業後	測定2	施工区画周辺かつ敷地境界	4方向各1点	大気																																																						
④⑩⑪	電気保安技術者図面	⑨	防 音 対 策	地上部の解体時は、当該建物の周囲を屋根底まで防音シートで囲む事。 解体作業用の開口部はこの限りでない。また、近隣や敷地内に対する騒音をできる限り抑えるよう、所要の防音対策を講じること。 敷地内の通路、公衆用道路に面する外部足場には、「建設工事公衆災害防止対策要綱建築工事編（平成5年1月12日 建設省経建発第1号）」に基づき防護棚を設けること。 受注者は、工事現場に以下のものを設置すること。 1) 工事標示板：W900×H1000程度 3箇所設置 2) 協力依頼板：適宜設置 3) 危険標示板：車両出入口の他適宜設置 施工期間中、解体敷地内に廃棄物置き場は原則的に設けない。 （ただし一定量は、監督職員と協議の上、承諾を得た場合はこの限りでない） 工事現場からの落下物・飛散物による危険防止は、万能鋼板・防音シート・養生金網等によるものとし、請負者の責任において適宜設置すること。 洗車装置（高圧洗浄装置等）を工事現場出口に適切に設け、泥土等が場外へ飛散することがないようにすること。（他に泥土等の飛散が防げれば、この限りでない） 既設排水溝や排水管・会所等の撤去時には、仮設の排水設備を設け、排水上の支障が生じないようにすること。 適宜防犯灯の設置工事を行うこと。 建物解体工事中、騒音・振動測定(3箇所)を行う事。その際仮囲い等に騒音・振動表示板を設置し近隣周辺に周知を行う事。測定地点は監督職員と協議の上決定。 敷地内の運搬通路について、必要な場合は数鉄板にて養生する事。 工事敷地の進出場所には、交通誘導員を配置して交通安全を計る事。																																																						
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑩	防 護 棚																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑪	工事標示板等の設置																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑫	仮 置 場																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑬	落下物・飛散物等による危険防止																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑭	洗 車 設 備																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑮	仮 設 排 水																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑯	防 犯 灯 設 備																																																							
④⑩⑪	完成時の提出図書完成図	⑰	騒音・振動測定設備																																																							
②	仮 囲 い	④⑩⑪	完成写真	提出の要否 ※要 ・否 アルバム提出部数 ※3部 ・部	③	解 体 工 事	①	一 般 仕 様	⑥	ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事	本特記仕様書及び図面による他、建設省監修日本建築センター発行「既存建築物の吹付アスベスト粉塵飛散防止処理技術指針・同解説」、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書 平成28年版」、厚生労働省「建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針」による。 建設業労働災害防止協会「建築物の解体等工事における石綿粉じんのばく露防止マニュアル」を参考とする。 厚生労働省「石綿飛散濃度防止対策徹底マニュアル[Z.02版]」を参考とする。 また、請負人はアスベスト撤去工事に際しては、特定化学物質等取扱い作業主任を専任し、その指示に基づき施工の事。 1). アスベスト撤去 アスベスト撤去工事については、(財)日本建築センター、(財)建築保全センターの技術審査を受けた除去工法によるものとし、専門業者による責任施工とする。 ＜参考業者＞ ・ ㈱ノザワ (tel:078-391-1651) ・ 明星工業㈱ (tel:06-6448-0455) ・ ㈱エスポワール (tel:06-6784-7200) ・ 協和産業㈱ (tel:052-903-0018) ・ 日本インシュレーション㈱ (tel:06-6633-7321) ・ ㈱エアンドエーマテリアル (tel:06-6312-1765) ・ ニチアス㈱ (tel:06-6252-1301)<																																															

PIC-UP工法特記仕様書

1. 工事概要

本工事は、PIC-UP工法による既存杭抜き地業である

油圧により稼働するチャック爪を有したケーシングを既存杭の先端まで回転貫入させ、このチャック爪により既存杭先端をつかみ込むことで全摘出することが可能である。

これにより一般工法では難しいとされていた【中折れ杭】、【途中で破損した杭】等の杭も撤去することが可能である。

2. 一般事項

(1) 本工事に採用する工法はPIC-UP工法とし、本特記仕様書に準拠することとする。

(2) 本工事の施工業者は、杭抜き工事に精通した施工業者とし、PIC-UP工法の取り扱いが可能な指定施工会社とする。

3. 特記事項

(1) 杭抜き図面と現場状況が異なる場合は、直ちに監督員と協議・承認のもと対応する事とする。

(2) 使用するケーシング及び施工機については現場状況等を考慮した上で変更可能とする。

4. ケーシング仕様

(1) 使用するケーシングは既存杭の外径よりも大きな内径を有するものを用いるものとする。

(2) 使用するケーシングは下記の通りの構成とする。

①チャッキングヘッド

- ・油圧操作により任意に稼働可能であり、既存杭先端から抱え上げる機能を有するもの
- ・先端部に掘削液や充填材の吐出穴を有するもの

②中間ケーシング

地盤及び既存杭との縁を切るために挿入するものであり、チャッキングヘッドとの連結バー及び送水管を有するもの

③上部ケーシング

- ・油圧スイベルを有するもの
- ・油圧稼働装置(油圧シリンダー)を有するもの

5. 施工計画

工事に先立ち、施工計画を監督員に提出する。施工計画書は、次の事項を明記する。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① 工事内容(杭径・本数・本数等) | ⑤ 各種作業の主たる従事者の組織表 |
| ② 工事期間及び工程 | ⑥ 建築請負業者の本工事責任者名 |
| ③ 工事手順 | ⑦ 本工事施工業者名及び責任者名 |
| ④ 施工機械・使用部材 | |

6. 施工方法

本工法の標準的な施工方法を以下に示す。

(1)準備工

- 杭中心位置を測量にて算出する。
- 重機搬入路及び据え付け箇所にて、鉄板またはセメントを用いた浅層地盤改良を実施し重機足場を確保する。
- 重機に使用機材(オーガー・ケーシング等)を装着する
- チャック爪の稼働状況等の確認を行う。

(2)本施工

- ユンボを用いて既存杭の杭頭出しを行う。
- ケーシングにより、掘削液(水・ペントナイト等)を注入しながら所定の深度まで掘削を行う。
ケーシングの鉛直方向を確認しながら、杭を傷めないように慎重に掘削する。
- 所定の深度まで掘削した後、ケーシングと杭の縁がきれている(杭がケーシングと一緒に回転した)ことを確認する
- チャック爪を突出させ、チャッキングを行う。チャック爪が全突出しない場合は、杭先端まで達していないと判断し再度チャッキングが可能となる深度まで掘削を行う。
- ケーシングを引き上げることにより、ケーシングに内包された杭を引き抜く。
充填剤について、同時注入法を用いる場合は、ケーシング引き上げと同時に充填材を吐出させ充填を行う。
- 地上までケーシングを引き上げた後、機械を旋回または移動させチャック爪を開放させる
状況に応じ大割機を用い杭をカットし、ケーシング内部から杭をすべて取り出す。
- 施工後の地盤を整地する。

7. 埋め戻し材仕様

埋め戻し材の仕様及び埋め戻し方式は下記の通りとする。

(1)埋め戻し方式

同時注入法 ・ 後投入法

(2)埋め戻し材種

貧配合セメントミルク

埋め戻し材は引抜き杭の体積以上の注入とする。

8. 引き抜き杭数量

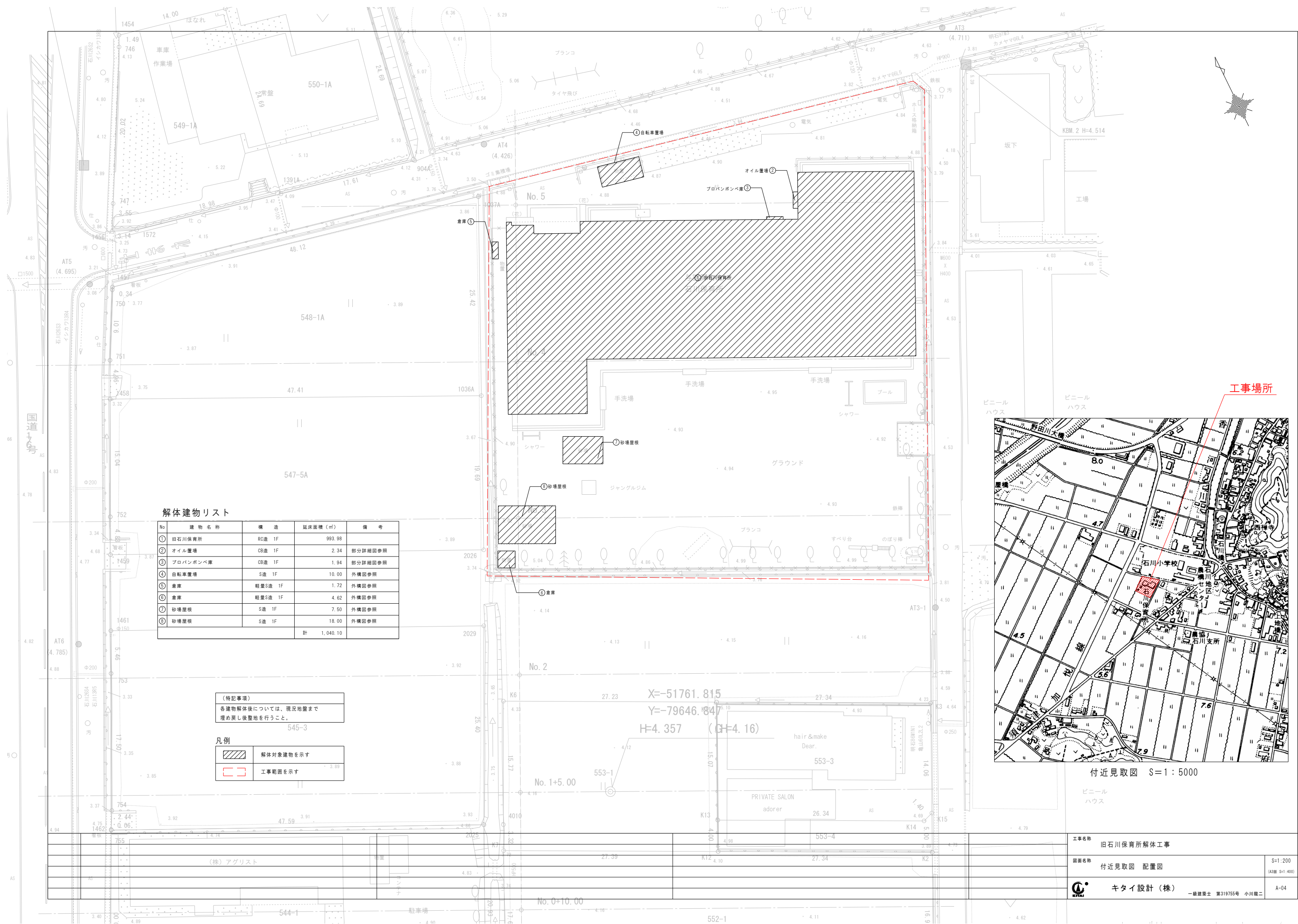
本工事における既存杭の杭種及び数量は設計図書の通りとする。

9. 安全対策

本工事に際し、下記の通り安全対策を講じることとする。

- 労働災害を防止するために、工事を指揮する作業責任者及び作業員は健康に留意し、規律ある正しい作業を行い、危険防止に対して常に注意する。
- 作業責任者が、作業に従事するものに、その順序、方法を周知させたうえ直接指揮のもとで行う。
- 安全通路の確保や作業敷地内への立ち入り禁止柵および表示等を行い、開口部や掘削孔軟弱な地盤の部分等の養生を行っておく。
- 悪天候時には厚生労働省が定める基準に基づき、直ちに作業を中止することとする。

		工事名称	旧石川保育所解体工事	設計図
		図面名称	既存杭引抜工事特記仕様書	S=-
			 キタイ設計（株） 一級建築士 第319755号 小川龍二	A-03



解体建物リスト

No	建物名称	構造	延床面積 (㎡)	備考
①	旧石川保育所	RC造 1F	993.98	
②	オイル置場	CB造 1F	2.34	部分詳細図参照
③	プロパンボンベ庫	CB造 1F	1.94	部分詳細図参照
④	自転車置場	S造 1F	10.00	外構図参照
⑤	倉庫	軽量S造 1F	1.72	外構図参照
⑥	倉庫	軽量S造 1F	4.62	外構図参照
⑦	砂場屋根	S造 1F	7.50	外構図参照
⑧	砂場屋根	S造 1F	18.00	外構図参照
			計	1,040.10

(特記事項)
各建物解体後については、現況地盤まで埋め戻し後整地を行うこと。

凡例	
	解体対象建物を示す
	工事範囲を示す



付近見取図 S=1:5000

工事名称	旧石川保育所解体工事	
図面名称	付近見取図 配置図	S=1:200 (A3版 S=1:400)
		A-04
キタイ設計 (株) 一級建築士 第319755号 小川龍二		

外部仕上り表						アスベスト含有分析調査済み建材					
部位	下地	仕上り	部位	下地	仕上り	建材名	分析結果	建材名	分析結果	建材名	分析結果
屋根		均しモルタル塗り t=10の上、シート防水 t=1.0（非歩行）の上、色付サンコート吹付（断熱材：スタイロフォーム t=25）	テラス	—	モルタル表面強化仕上 t=30、段鼻タイル W=75（タレ付）（土間コンクリート t=150、D10 #250、割栗石 t=150）	外壁 アクリル系吹付タイル	非含有	屋内 壁 アクリル系リシン吹付	非含有	煙突 石綿パイプ	みなし含有
庇	—	均しモルタルコテ押え t=10の上、合成ゴムシート防水 t=1.0（非歩行）の上、色付サンコート吹付	犬走り	—	モルタル表面強化仕上 t=30 目地切 #3,500（土間コンクリート t=150、D10 #250、割栗石 t=150）	屋内 床 長尺塩化ビニールシート	非含有	屋内 天井 ロックウール吸音板	含有		
軒天	—	コンクリート打放の上、アクリル系リシン吹付 一部、石綿ケイ酸カルシウム板 t=4.0の上（アスベスト含有レベル3）、アクリル系リシン吹付	樋	—	軒樋：塩ビ製角樋 W=120 H=90 t=1.7 OP塗（EXP.J付） 整樋：硬質塩ビ製パイプ φ100 OP塗	屋内 床 ノンスリップシート	非含有	屋内 天井 石こうボード	非含有		
外壁	—	コンクリート打放の上、アクリル系吹付タイル ヘッドカット仕上 一部、二丁掛タイル フランス張り	建具	—	アルミニウムアルマイト	屋内 壁 ビニールクロス	非含有	屋内 天井 化粧石こうボード	非含有		
巾木	—	モルタルコテ押え H=450	水切	—	アルミニウムアルマイト 後付タイプ	屋内 壁 石こうジョインボード	非含有	屋内 天井 杉変化粧石こうボード	含有		
ポーチ	—	磁器タイル 150角 （土間コンクリート t=150、D10 #250 S.C、割栗石 t=150）	シーリング	—	不定形弾性シーリング材	屋内 壁 じゅらく吹付	非含有	屋内 天井 石綿珪酸カルシウム板	含有		

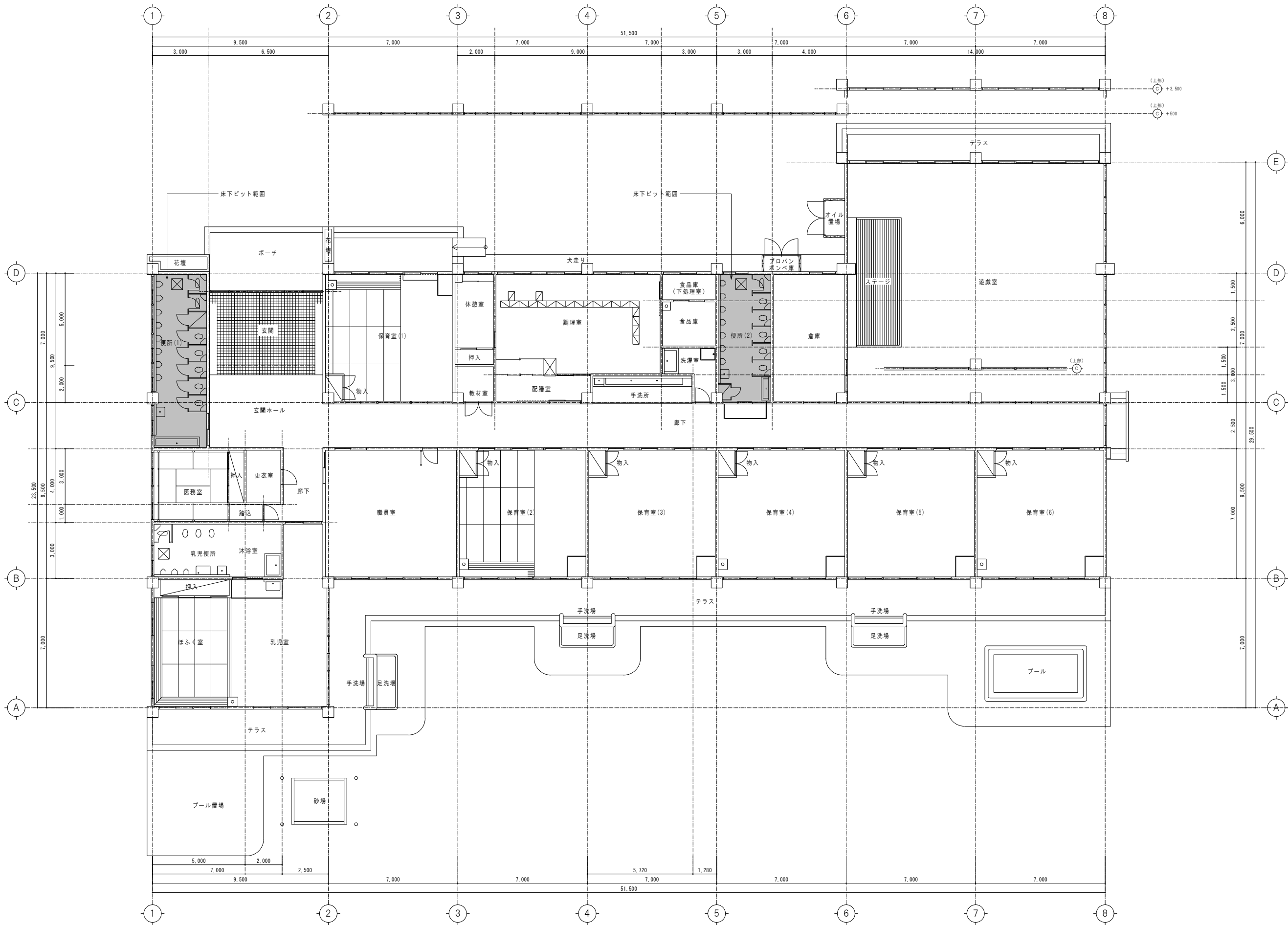
内部仕上げ表																			
階	室名	天井高	床			巾木・腰壁				壁			天井			廻縁	ブラインドボックス カーテンボックス ブラインド カーテン	備考	
		床高 基準：FL+																	下地
1 階	玄関	2,860	せつ器タイル 150角	—	C	テラゾーブロック t=25	—	170	C	せっこうジョイントボード t=12の上、 ビニルクロス張	—	W	せっこうボード t=9の上、 ロックウール吸音板 t=9 (アスベスト含有レベル3)	—	—	塩ビ製	—		
		-150																	
	玄関ホール	2,710	耐水ベニヤ板 t=5.5の上、 フローリング t=15	U C	W	木製巾木 t=25 腰壁：ピーリング t=5	OP 塗装品	100 785	W	せっこうジョイントボード t=12の上、 ビニルクロス張	—	W	せっこうボード t=9の上、 ロックウール吸音板 t=9 (アスベスト含有レベル3)	—	LGS	塩ビ製	—		
		±0																	
	更衣室	2,500	耐水ベニヤ板 t=5.5の上、 フローリング t=15	U C	W	木製巾木 t=25	OP	100	W	せっこうジョイントボード t=12の上、 ビニルクロス張	—	W	化粧せっこうボード t=9	—	LGS	塩ビ製	—	室名札	
		±0																	
	医務室	2,550	耐水ベニヤ板 t=5.5の上、 畳敷き t=55	—	W	畳寄せ	—	—	W	せっこうジョイントボード t=12の上、 ジュラク吹付	—	W	杉妻化粧せっこうボード t=9 (アスベスト含有レベル3)	—	LGS	—	—	室名札	
		+100																	
	踏込	2,680	耐水ベニヤ板 t=5.5の上、 フローリング t=15	U C	W	木製巾木 t=25	CL	150	W	せっこうジョイントボード t=12の上、 ジュラク吹付	—	W	杉妻化粧せっこうボード t=9 (アスベスト含有レベル3)	—	LGS	—	—		
		±0																	
	ほふく室	2,635	耐水ベニヤ板 t=5.5の上、 畳敷き t=55	—	W	畳寄せ	—	—	W	せっこうジョイントボード t=12の上、 掲示クロス張	—	W	化粧せっこうボード t=9	—	LGS	木製	○	室名札	
		+100	一部、フローリング t=15	U C															
	乳児室	2,735	耐水ベニヤ板 t=5.5の上、 フローリング t=15	U C	W	木製巾木 t=25	OP	100	W	せっこうジョイントボード t=12の上、 掲示クロス張	—	W	化粧せっこうボード t=9	—	LGS	木製	○	室名札、黒板	
		±0	一部、ノンスリップシート t=2.2														カーテン	煙突 (アスベスト含有レベル2)	
	職員室	2,735	耐水ベニヤ板 t=5.5の上、 フローリング t=15	U C	W	木製巾木 t=25	OP	100	W	せっこうジョイントボード t=12の上、 ビニルクロス張	—	W	せっこうボード t=9の上、 ロックウール吸音板 t=9 (アスベスト含有レベル3)	—		塩ビ製	○	室名札、黒板、行事黒板、掲示板	
		±0															カーテン		
	保育室	2,735	耐水ベニヤ板 t=5.5の上、 フローリング t=15 (共通)	U C	W	木製巾木 t=25	OP	100	W	せっこうジョイントボード t=12の上、 掲示クロス張	—	W	化粧せっこうボード t=9	—	LGS	木製	○	室名札、黒板	
		±0	一部、ノンスリップシート t=2.2 (共通)															カーテン	保育室(1)、(2)、(4)、(6) 煙突 (アスベスト含有レベル2)
			フローリング t=15の上、 ビニル床シート t=2.0 (保育室(1)のみ)																
			畳敷き (保育室(1)(2)のみ)																
	遊戯室	3,235～	耐水ベニヤ板 t=5.5の上、 フローリング t=15	U C	W	木製巾木 t=25	OP	100	W	下部：有孔シナベニヤ t=6 上部：アクリル系リシン吹付	SOP	W	下部：化粧せっこうボード t=9 上部：アクリル系リシン吹付	SOP	LGS	塩ビ製	○	木製ルーバー、室名札	
		±0																カーテンボックス 暗幕	
	倉庫	2,735	モルタルコテ押え t=30の上、 長尺塩化ビニル床シート t=2.2	—	C	木製巾木 t=25	OP	100	W	ラワンベニヤ t=5.5	—	W	ラワンベニヤ t=4	—	LGS	塩ビ製	—	室名札	
		±0																	
	調理室	2,900	発砲ポリスチレンボード t=50の上、 モルタル表面強化仕上 t=30	—	C	—	—	—	—	陶器質タイル 100角	—	C	石綿ケイ酸カルシウム板 t=4 (アスベスト含有レベル3)	VP	LGS	塩ビ製	—	室名札、行事黒板	
		-170																	
	洗濯室	2,550	モルタルコテ押え t=30の上、 ノンスリップシート t=2.2	—	C	モルタルコテ押え t=25	OP	100	C	モルタルコテ押え t=25	VP	C	石綿ケイ酸カルシウム板 t=4 (アスベスト含有レベル3)	VP	LGS	塩ビ製	—	室名札	
		-75																	

共通凡例			塗装凡例		
C：コンクリート直押エ下地	LGS：軽量鉄骨壁、天井下地	SOP：合成樹脂調合ペイント塗り	AE：アクリル樹脂エナメル塗り	DP：耐候性塗料塗り	
S：セルフレベリング下地	W：木製網縁、木製軸組、木製床組	EP：合成樹脂エマルジョンペイント塗り	WP：木材保護塗料塗り	NAD：アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	
M：モルタルコテ押エ下地	GL：GL工法	EP-G：つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り	FE：フタル酸樹脂エナメル塗り	OSV：オイルステインワニス塗り	
SUS：ステンレス	OA：フリーアクセスフロア	CL：クイヤラッカー塗り	UC：2液形ポリウレタン樹脂ワニス塗り		
ALC：軽量気泡コンクリート	CC：シンダーコンクリートコテ押エ下地	OS：オイルステイン塗り	OP：油性調合ペイント塗り		
CB：コンクリートブロック		VE：塩化ビニル樹脂エナメル塗り	2-UE：2液形ポリウレタンエナメル塗り		

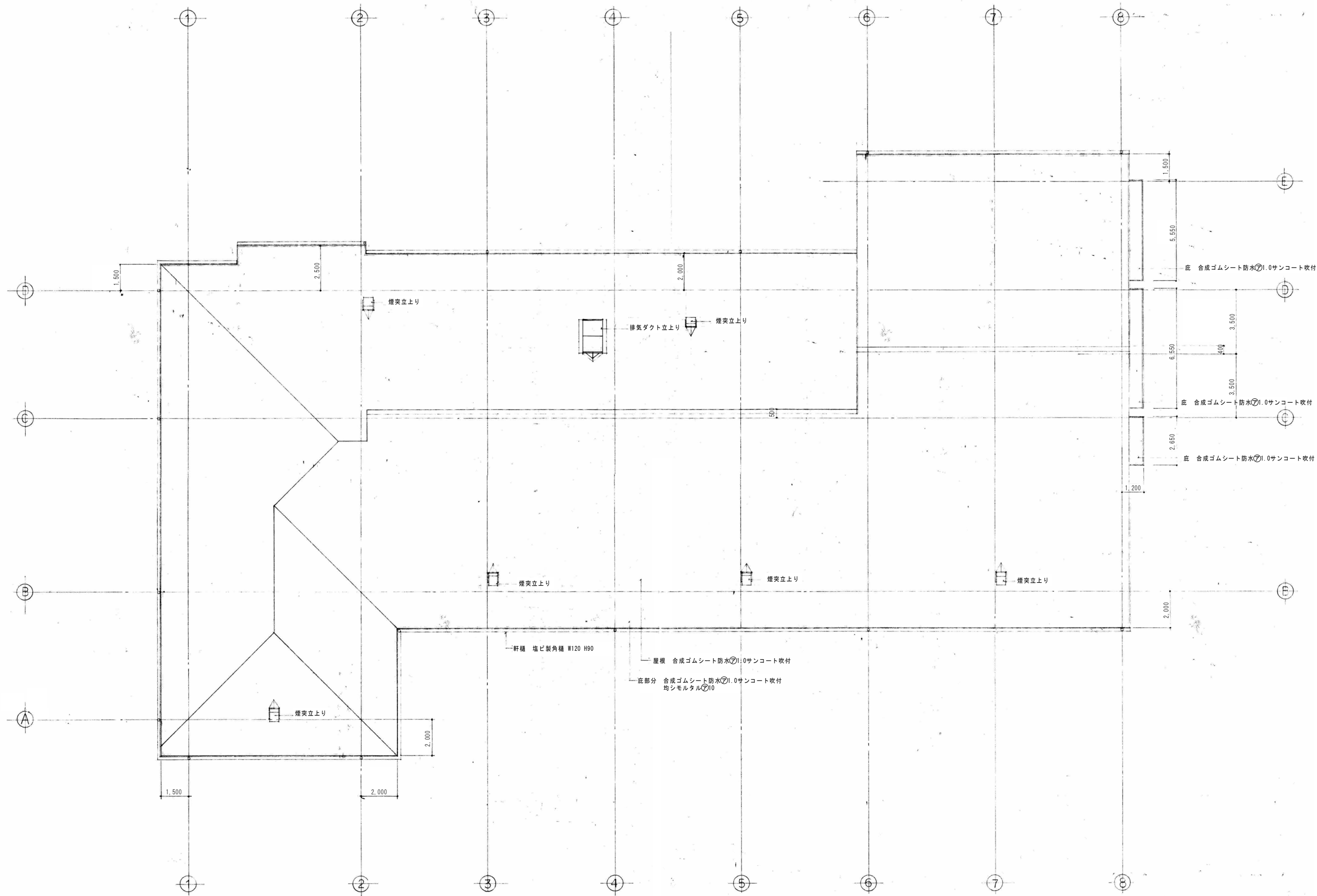
					工事名称	旧石川保育所解体工事	
					図面名称	仕上表(1)	—
						キタイ設計（株）	一級建築士 第319755号 小川龍二
							A-05

[illegible]

					工事名称	旧石川保育所解体工事	
					図面名称	仕上表(2)	—
					 キタイ設計（株） 一級建築士 第319755号 小川龍二	A-06	



		工事名称 旧石川保育所解体工事	
		図面名称 平面図	S=1:100 (A3版 S=1:200)
		キタイ設計 (株) 一級建築士 第319755号 小川龍二	
		A-07	



屋根伏図 1 : 100

工事名称 旧石川保育所解体工事		
図面名称 屋根伏図	S=1:100 (A3版 S=1:200)	
 キタイ設計 (株)	一級建築士 第319755号 小川龍二	A-08



天井伏図 1 : 100

符 号	仕 上
(A)	石コウボード [㊦] 下地 ロックウール吸音板 [㊦]
(B)	化粧石コウボード [㊦]
(C)	杉化粧石コウボード [㊦]
(D)	ラワンベニア [㊦] 4
(E)	石綿珪酸カルシウム板 [㊦] 4 VP
(F)	石綿珪酸カルシウム板 [㊦] 4 EP
(G)	アクリル系リシン吹付及び木製ルーバー ^{OP}
(H)	コンクリート打放 アクリル系リシン吹付
(I)	石綿珪酸カルシウム板 [㊦] 4 アクリル系リシン吹付
CB	カーテンボックス W=150 OP
☒	天井点検口 450×450 アルミ枠
●	ステンレスヒートン6φ